



学校図書館実践事例集

# 本と子どもをつなぐ学校図書館 ～那覇市立那覇中学校～



## 児童生徒が気軽に 訪れる図書館づくり



本が好きな子にもそうでない子にも図書館に行けば何か楽しいことがある！と思わせるような取組みを紹介します。

### 1 くつろぎスペースの設置



#### ■ 「心の居場所」をつくる

学校図書館には「読書センター」「学習センター」「情報センター」としての役割と、もうひとつ「心の居場所」としての役割もあります。図書館は落ち着ける場所と認識してもらうための工夫を紹介します。

#### くつろぎスペース



禁帯出の漫画や雑誌を一カ所にまとめて置く。休み時間ならば比較的自由な利用が可能だが、授業中はその内容によって立ち入りを制限するなど、メリハリをつけている。



マンガは左のようにブックトラックに並べ、まとめて移動できるように工夫しています。

## 学習コーナー

「学習コーナー」はカウンター裏手にあり、静かな空間です。少人数で利用できるようになっており、休憩場所としても活用しています。



出入り自由で比較的静かな場所を整備。自習や休憩に活用。

メインの出入り口とは別に、「学習コーナー」直結の出入り口を設置



## 2 イベントの企画・実施



### ■イベントを実施することで「図書館は楽しいところ！」を演出する

読書旬間、読書週間、読書月間など、各学校でもさまざまな図書館イベントを実施していると思いますが、ここでは各学校のアイデアを紹介します。

#### 図書館福引き



雑誌等の付録のポスター、クリアファイル、ブックカバーを保管しておき、福引きの景品に充てます。



#### 【方法】

目標を設定し、達成した生徒に福引き券を配布。

- ・目標1 読書月間中に5冊以上読む
  - ・目標2 全分類読破を目指す+
- 年間読書冊数 40 冊以上

目標1つクリアごとに福引券1枚がもらえる。

#### A 賞

グッズ1つ・ポスター1枚

または、ポスター2枚

#### B 賞

グッズ1つ または、ポスター1枚

#### C 賞

ブックカバー または、しおり2枚

#### D 賞

しおりと+1冊貸出券

#### E 賞

+1冊貸出券

# 児童生徒と本との 「であい」をつくる



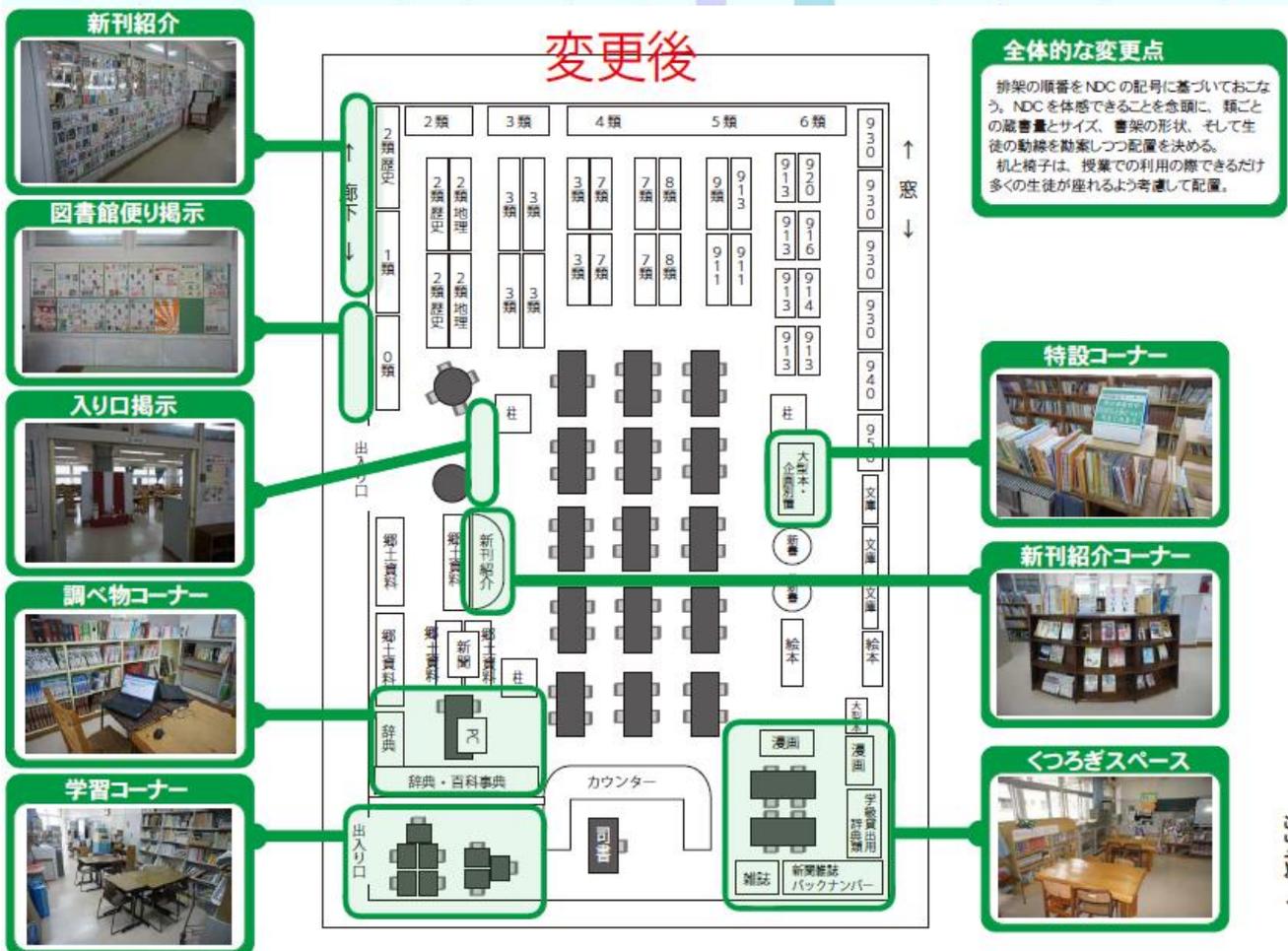
9類に偏りがちな本の貸出し  
…そこで子どもたちにより多くの本に触れてもらうための取組みについて紹介します。

## 1 図書館の書架レイアウトの工夫



### ■書棚にどんな種類の本が並んでいるのか興味をもたせる

多くの図書館では日本十進分類法(NDC)のもと資料を分類し排架しています。そして、多くの学校において、児童生徒に分類法について理解してもらうための機会を設けています。ここでは、その取組みについて紹介します。



類ごとの蔵書量とサイズ、書架の形状、生徒の動線を勘案して配置を決めました。館内レイアウトを大幅に変更したことによって、さまざまな目的に応じた利用が可能となり、図書館の利活用が活発化しました。

## 2 掲示物の工夫



### ■季節感のある掲示 図書館だよりの発行

学校図書館の取組みや新刊の紹介など、図書館だよりの掲示物をとおして情報発信を行うことはとても大切です。各学校のさまざまな方法を紹介します。



季節の掲示



新刊紹介

新刊やオススメの本を随時紹介している。



図書館便り掲示

### ◇掲示物で使用したアイテムをファイリング

スクラップブックや衣装ケースに保管して、  
掲示計画や他校学校司書との情報交換に役立てています。



### 3 選書の工夫 ～委員会活動と連携して～



#### 図書委員会選書ツアー

##### 1 ねらい

- ・ 図書委員会は、那覇中学校の図書館を運営する一員である。選書及び予算執行を体験することで、図書館の運営について理解を深め、今後の委員会活動に活かしていく。
- ・ 図書委員による生徒の視点からの選書と広報は、利用者に対して大きな訴求力が期待される。特にこの時期におこなうことで、校内読書月間のねらいの達成に資する活動とする。

##### 2 期日 全員が経験できるよう、図書委員の都合に合わせて複数回設定

(例) 第1回 令和元年8月29日(木) 放課後

第2回 令和元年9月11日(水) 放課後

第3回 令和元年9月26日(木) 放課後

##### 3 場所 : ジュンク堂書店 現地集合・解散

##### 4 予算 : ひとり3,200円

##### 5 手順と注意事項

###### 選書・相談

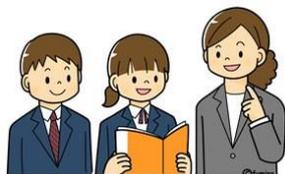
- ・ できるだけ9類(小説・読み物)以外も選ぶ
- ・ 消費税に気をつける
- ・ 予算を使い切らなくてもいいが、できれば「購入額 > 残予算額」

###### 購入

- ・ 店員に、「領収証をお願いします」 → 「レシートタイプをお願いします」
- ・ 宛名は「那覇中学校」、但し書きは「書籍代」
- ・ ブックカバーは不要
- ・ 領収証と残金を、封筒に入れる

###### 紹介文を書く

- ・ 「図書委員セレクション」として紹介文を書く。
- ・ 本の装備に興味がある委員は、カバー掛け等もおこなう。



那覇中学校図書館では、学校経営構想の基本理念の一つ「知徳体バランスのとれた成長」の具体的方針「学校図書館の利活用・充実」に基づいて、読書活動を推進しています。学校教育活動の中に図書館の役割が明確に定められ、基本理念の実現を支援する「学びの土台」としての役割を果たしています。